

春の洞爺湖観光幕開けイベント「湯上りに乾杯！第14回洞爺湖温泉銘酒まつり」（主催洞爺湖銘酒クラブ）が、4月9日洞爺湖観光ホテルで開かれ、札幌、室蘭など約180人の左党が参加して、地場産品と地酒、ワインなどで楽しい一夜を過ごしました。

愛飲家らは、参加した蔵元から直接話を聞き、その自慢の酒を堪能。

町特産品の春雨やあか毛和牛を使用した料理の試食やプロが教えるノンアルコールカクテルの作りかた、逆ビンゴ大会など様々な参加企画もあり、会場は大いに盛り上がっていました。



ワインを楽しむ参加者ら

開宴に先立ってロビーでは、東日本大震災支援の生ビールや酒の販売が行われました。

洞爺湖の春の幕開けイベント 第14回銘酒まつり開催

ボランティア団体ななかまどの会 虻田小に手づくり雑巾100枚寄贈



雑巾を手渡す坂井会長(右)

毎年の恒例となっている町内のボランティア団体「ななかまどの会」（坂

井千枝会長）による学校への雑巾寄贈が、4月11日虻田小学校で行われました。

当日は、坂井会長らメンバー4人が同小を訪れ、小澤範男校長に、会員手づくりの雑巾100枚を手渡しました。

同校長は「ありがとうございます。学校ではいろんな利用方法があり、有効に使わせていただきます」と感謝の言葉を述べました。

届けよう善意の輪 東日本大震災支援のチャリティーイベント

東日本大震災の被災者を支援しようと4月16日、とうや水の駅でチャリティーイベント「届けよう！洞爺湖の輪！」（同実行委員会主催）が開かれました。



被災者のために千羽鶴を折る来場者

当日は、地域住民や町外からも多くの人を訪れ、ライブや衣類、カレーなどのバザーを楽しむほか、千羽鶴を折ったり、励ましの言葉をボードに書き込んだりして、善意の輪が広がっていました。

募金箱、チャリティーライブの投げ銭、バザーの売り上げなどこの日173,760円が集り、赤十字、災害遺児のためのあしなが育英会、東日本大震災市民ネットワーク札幌むすびぼの3団体に、57,920円づつ送られました。

有珠山の春を探そうと「金比羅山 春の色さがし」（主催洞爺湖ビジターセンター）が4月24日開かれ、金比羅火



春の訪れをさがす子ども達

口周辺を歩きながら、目で見えた景色や草花の色をカードにチェックするネイチャーゲームを楽しみました。

参加者は、ヤナギの芽吹きや萌える草花などの自然観察をしながら、約1時間30分ほど火口周辺を散策しました。

同センターに戻ってからは、見つけた春の色と同色の折り紙を使って、ポストカードをつくり、春の訪れを実感しました。

有珠山の春を探そう 「金比羅山 春の色さがし」